

「種を届ける」

(2022.3.23 井口寛司)

「種を届ける」の「種」って何か。
「希望」なんです。「希望」を届けるんです。「希望」をみなさんに届ける、ってことなんです。
「たとえ明日 世の終わりが来ようとも 今日 私はリンゴの木を植えよう」
今日を精一杯生きる。

希望を届けられる専門家

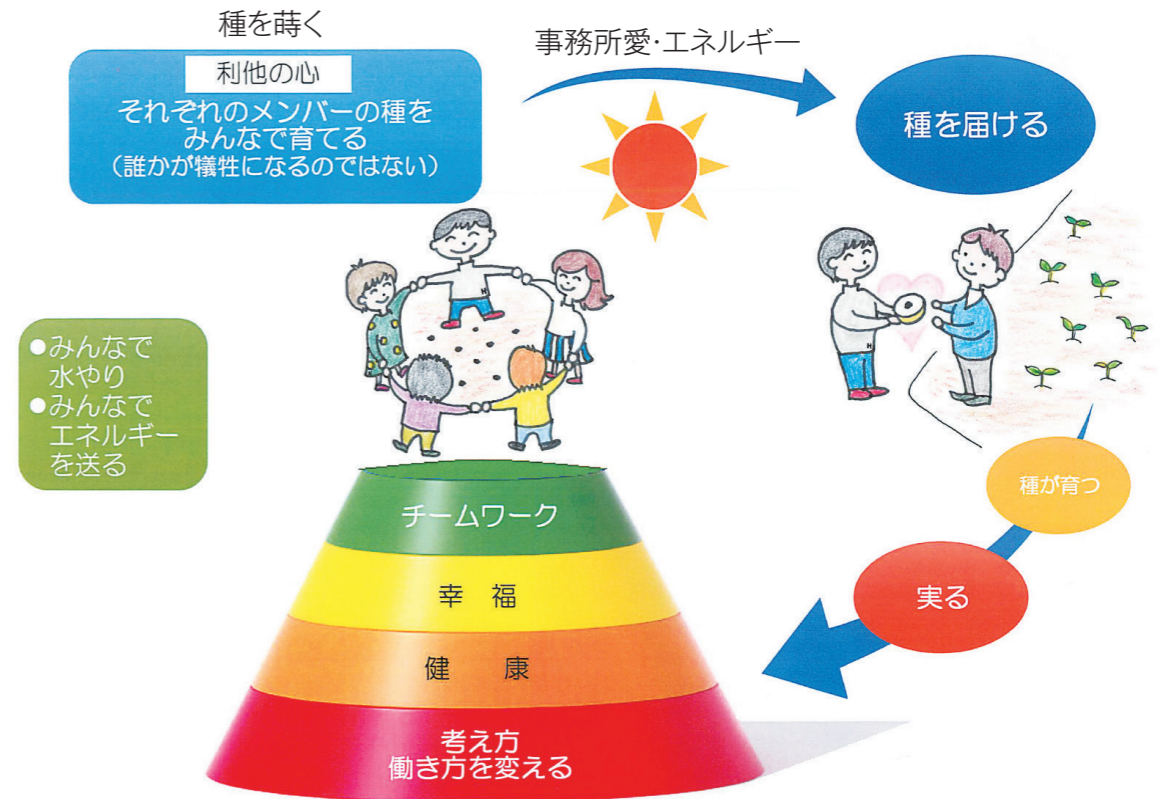
「希望」ってどうやったら届けられるか。渡す人が「希望」を持っていないといけない。
弁護士は論理的思考力により、最高裁判例、評釈、条文を調べるが、自分で、無理だとなり、八方塞がりとなる。
希望を無くした専門家(弁護士、医師)が依頼者、患者に渡すものは消極的、免責的。難しいです、ということとなり、希望のない、エネルギーのないカスとなる。
受け取るものがない。
希望をもった話は、この件は解決できる、安心してください、一緒に頑張っていきましょうよ。
それは判例や論文からは生まれえない、周りの壁をどう見ても希望は生まれえない。
その事件を高い視点から見る。
どんな価値と価値がぶつかり合って、これまでの判例が法的保護に値しないと行って請求を棄却してきたのか。
ベースとなる社会の価値観が変われば、最高裁の価値判断も変わっていく。
「これまで無視されてきた価値」に気づく。
上を見れば青空が広がっていて、差し込む光があるはず。壁を見ている。
その希望の光を弁護士は、専門家は見つけていかなければならない。
まだまだ解決方法がある。そうした希望が入ったお話を届ける、ということです。
そうすると希望が入ったお話(種)はエネルギーに満ちているので、育っていくわけです。

MINAMATA

ニュースレターでMINAMATAのことを書いた。チツソの社長は水俣病の被害をppmだと切り捨てた。
しかし、そのppmとされた価値は、現在、SDGs、人権、地球環境。大きな価値となっている。
公共の福祉を笠に着て、高度経済成長期において、人権侵害はやむを得ないとされてきたが、価値転換が起こっている。
どうやったら希望を届けられるか、ひたすら勉強するしかない。
常に、上述の思考回路を作っていく。
自動販売機型ではない。希望を届けられる弁護士・専門家は硬貨を入れたら、100円のジュースではなく、なんとキラキラ光るものが出てくる、依頼者にはかけがえのない種となる。

種を育む

種をみんなで育てていかなければならない。種が希望だとすればその希望をみんなで育んでいく。
みんなで希望を育てていく事務所ってどんな事務所?
毎日のこと。
朝、「おはようございまーす」と言って入ってくると
これに応える「おはようございまーす」があれば。
相手が全然見ない、PC見たまま、「おーっす」というだけ、では希望は生まれえない。
恵み、楽しさ、嬉しい、喜び、幸せを感じる、そこから希望が生まれてくる。
弁護士同士の他愛もない会話。それは情報共有でも、情報伝達でもない。しかし、会話をした後、「また頑張ろ」となる。
そこに希望が生まれている、種が生まれている。
そういう会話があちこちでなされて、希望が生まれていく、事務所の一人ひとりが希望を持っていないといけない。
しかし人間は弱い。悲しみ、哀しみ、妬みなどなど、負の感情が。
「希望に満ちた言葉」を交わしていると、生きる希望、仕事をする希望が生まれ続けていく。それがいいエネルギーとなって事務所の中で循環を始めると希望にあふれた人たちがいる事務所となる。
チームワークってそういう意味。決して誰かの指令に他の人が従う、ということではない。情報の共有、伝達を超えて、人生の希望をそのチームの中に届け、蒔いていく。
希望はあふれる、希望のチームワークができる。



利他の心

早く、希望を、エネルギーを。届けたくて、ワクワクしてくるはず。
少しでも早く、その希望をエネルギーを、会社の相談でも希望を届けたくて。
愛に溢れた希望のチームワーク。誰かが犠牲になるのではない。
チーム内でも、弱い心が出て、希望をもらうことができる。
玄関を開けた途端、「気」(エネルギー)が溢れていけば、依頼者は人間で、人間は動物なので分かる。
これが利他の心。

健康、幸福、働き方

健康、幸福、働き方、と書いているが、一人ひとりが幸せで、健康でないと。
あればそれを事務所内で分かち合う。
健康、幸福、素晴らしいチームワーク。
みんなで水やりをして、みんなでエネルギーを送る。

DXって何か。
その希望を育てる前提となる事務所のメンバーの個々の幸せを考えていくということ。
それぞれ事情を抱えている、各人の個性を大事にする。
多様性をインクルージョンしていくための手段。
子育て、介護。
保育園のおむつや布団とともに紙の重たい記録を抱えるとなると限界を超える。熱出せば休み。
PCひとつで事務所と共有して仕事ができれば、その人の幸せが一步実現できる。
色んな事情を抱えた人も仕事を続けられる。
大切なインフラ。色んな人を巻き込める。
色んな種を育てていける、愛の溢れる重要なインフラ、ツール。
早くその基礎を整えたい。

希望のエネルギー

種を蒔く、事務所愛・エネルギーとして種を届ける、
希望が実って、また事務所に戻ってくる。
エネルギーが、希望が戻ってくる。
これが所員の物心両面の幸福を実現する事務所である。